

# 阿蘇の草原千年の歴史を学ぶ

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



13 気候変動に  
具体的な対策を



15 陸の豊かさも  
守ろう



## プログラムのポイント

### ①プログラムの狙い

日本が世界に誇る自然と人間とが共生してきた文化の象徴である阿蘇の草原、この価値ある自然を守り、そして再生していくことには大きな意義があります。先人の草原との深く豊かな関係をいま一度見つめ直し、人と自然との新しい関係を築きあげ、千年の草原を引き継いでいくため阿蘇の草原環境の仕組みや成り立ちについて学びます。

### ②学習内容

阿蘇草原保全活動センター草原学習館の展示や映像資料を活用して、草原と人との関わりについて学びます。また、草原のスキを使ったミニホウキづくりなど、クラフト体験を通じて草の利用について学ぶこともできます。



## プログラムの流れ

### ①テーマの設定

千年に及ぶ草原と人との関わりと保全・再生を学ぶ。

### ②事前学習

阿蘇の自然についてみんなはどんなイメージをもっているかな？地元の人たちは阿蘇の自然をどのように利用しているのだろう？みんなで意見を出し共有しておこう。

### ③事後学習

草原保全・再生活動の参加を考える。



### ④参考資料

草原再生プロジェクトホームページ  
阿蘇の草原ハンドブック

## トピックス TOPICS

### ■阿蘇の野焼き

毎年2～3月頃、草原に火をつけ、草原に残る枯れ草を焼いています。これを「野焼き」と言います。野焼きによって新しい草ができ、草刈り作業もしやすくなります。またこのことが草原に多くの生きものが暮らせる環境をつくっています。



野焼き支援ボランティア

### ●野焼き支援ボランティアの役割

1999年から始まった野焼き支援ボランティア活動では、『阿蘇への恩返し』を合言葉に、県内外から毎年多くの方が阿蘇の野焼きの支援に駆けつけています。地元以外のボランティアを取り入れた野焼き支援活動は阿蘇千年の草原の歴史の中でも初めてのことであり、地元からの期待も大きく、社会的にも大きな反響と評価を得ています。



草原学習館

## 実施概要

- 受入期間／通年 ※年末年始を除く
  - 受入人数／100名程度 ※要相談
  - 受入時間／9:00～17:00
  - 実施場所／阿蘇草原保全活動センター
  - 講師の派遣／可能
- ※火山博物館・未来館を含めますとより良い学習ができます。

## 【問い合わせ先】

公益財団法人 阿蘇グリーンストック <http://www.asogreenstock.com/>

TEL 0967-32-3500 / FAX 0967-32-3355 〒869-2307 熊本県阿蘇市小里656-1阿蘇草原保全活動センター内